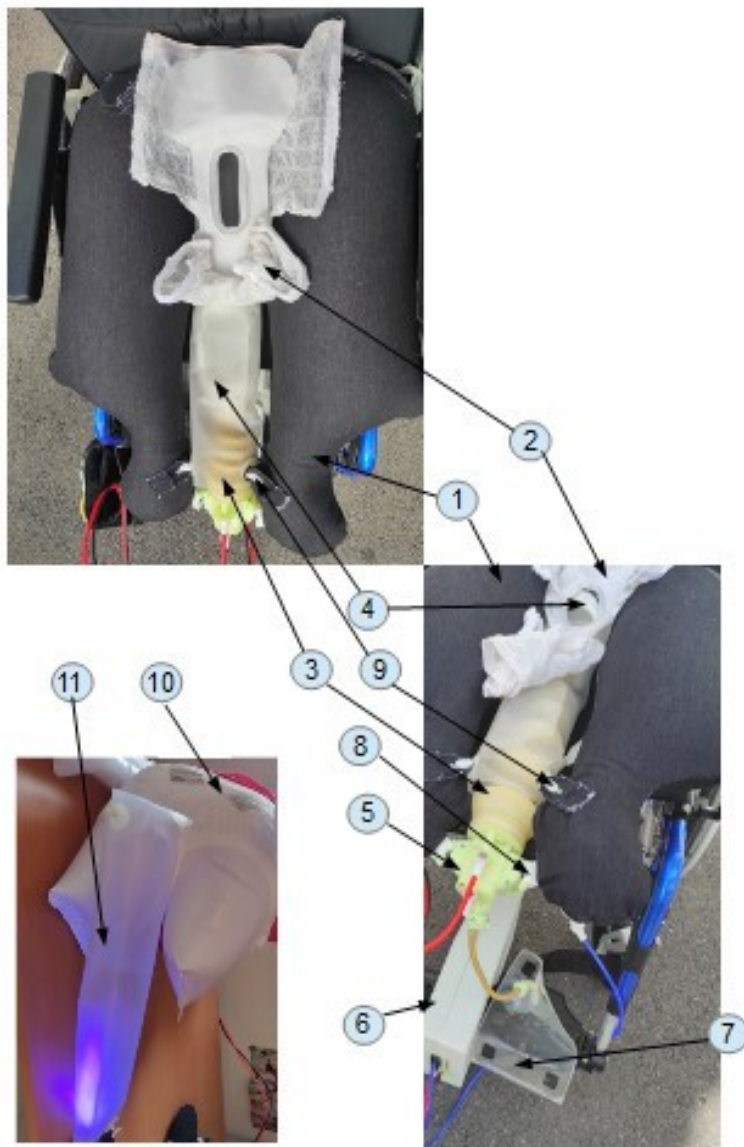


## 使用準備完了モードのICK1-P1

### 1 医療機器の概要

#### ICK装置スペアパーツの説明



1. ボディの骨盤リフトブイ
2. 使い捨てコレクター
3. 空気圧駆動ユニット
4. 移動式ソフトベッドパン
5. 空気圧式尿ポンプ
6. コントロールボックス
7. 尿袋
8. ブイのフロント・フレキシブル・ファスナー
9. コレクターズフレキシブルファスナー
10. クロッチバンド（術後下着）
11. 使い捨てコレクターのダクト

## 2 介助者のための初期組み立て説明書（自宅の

N°1）：骨盤リフトブイを膨らませる。

ベージュのバッグには、携帯用コントロールボックスと、圧縮空気または真空空気を注入するために医療機器の3つの空洞に接続する3つの空気圧コネクターが入っている。

ベージュのバッグには骨盤リフトブイ(1)も入っており、車椅子のシートと同じ色の布製カバーで覆われている。

コントロールボックス(6)と馬蹄形ブイ(1)を空気圧で接続した後、馬蹄形ブイ(1)を膨張させる。

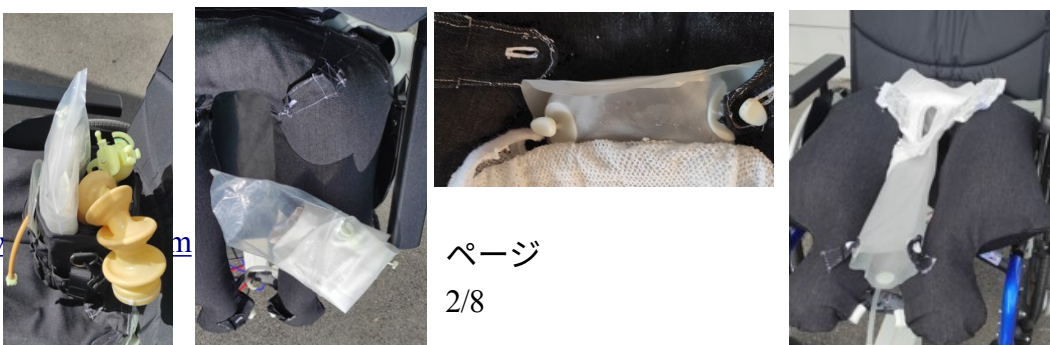


## 3 介助者のための初期組み立て説明書（自宅のN°2）：

ディスポーザブル・コレクターをボディの骨盤リフト・ブイに取り付ける。

使い捨てコレクター(2)は、使用者の骨盤を包む、防水用のプラスチックコーティングが施された繊維部分と、円筒形のガイドダクトから構成される。

この円筒形ダクトは、コレクターのフレキシブルファスナー(9)を使って馬蹄形ブイの両端に取り付けられる。このチューブの目的は、肛門と肉壺の下の採取位置と、身体に支えられていない位置との間で、移動式軟性ベッドパン(4)を容易にスライドできるようにすることである。



ケアラズ・ガイド：ICK組立・分解手順書

4 介助者のための初期組み立て説明書（自宅のN°3）：  
空気圧式尿ポンプを抽出ユニットに組み込む

空気圧式尿ポンプ（5）は、電子部品に接触することなく尿を汲み上げることができ、尿で汚れる可能性のある身体の近くで電気を必要とせず、圧縮空気のみからエネルギーを受け取る。

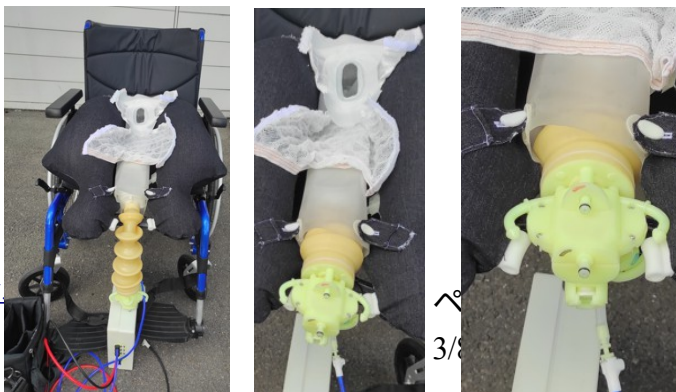


抽出ユニットは、空気圧駆動ユニット（3）と移動式ソフトベッドパン（4）の組み合わせで、互いに一体となっている。

5 介助者のための初期組み立て説明書（自宅のN°4）：  
エクストラクションユニットをガイドダクトに挿入し、ブイのフロントフレキシブルファスナーでブイに固定する。

空気圧式尿ポンプ(5)はまた、空気圧式駆動装置(3)のアンカーポイントでもあり、軟質ベッドパン移動体を推進または牽引します。

空気尿ポンプ（5）の曲線状のサイドチューブは、ブイのフロントフレキシブルファスナー（8）という名前のフレキシブル中空ダクトに挿入する必要があります。





ケアラズ・ガイド：ICK組立・分解手順書

- 6 介助者のための初期組み立て説明書（自宅のN°5）：  
空気供給コネクタを空気圧式尿ポンプに接続 空気供給コネクタを空気圧式駆動ユニットに接続 尿バッグを空気圧式尿ポンプに接続



- 7 介助者のための初期組み立て説明書 (N°6 at home)： 障害者の車椅子への移乗

リフトやその他の移乗器具を使って、介助者は障害者が膨張したブイに確実に座り、利用者の臀部と大腿部を支える。ニー・プッシャーと呼ばれるブイの前部分は、排泄の瞬間に大腿部を広げることができる。

術後下着部分の両サイドには、ベルクロ留め具があり、サイドを閉じることができる。

利用者の骨盤を囲む繊維とプラスチックの部品が正しく装着され、装置の防水性と便や尿が可動式ソフトベッドパン(4)に収束するように位置決めされていることを確認した後、介助者は利用者の着衣を上から仕上げる。



<https://www.elimatch.com>

## 8 介助者のための初期組み立て説明書（N°7 家庭用）：ブイの空気を抜き始める

骨盤リフトブイ(1)を収縮させると、車椅子のシートに対して前部が水平に保たれない。使い捨てコレクター(2)と抽出ユニット(3+4)は、使用者の脚の間に落ちる。装置全体を隠す衣服の製造も可能である。これらの写真は、車椅子使用者が自宅で使用していない時の装置の位置を示すために選んだものです。

コントロールボックス(6)はフットレストまたはアームレストの下に置くことができます。電動車椅子にコントロールボックスを設置する方法は他にもあります。

バッテリー駆動のコントロールボックスは、自宅でも外出先でも動き回れるように設計されている。

介助者は、障害者から離れる前に、利用者が選択したコマンドを使用して医療機器を制御できることを確認しなければならない。



## 9 廃棄前、廃棄中、廃棄後の装置のユーザー管理：

ユーザーは、医療機器の5つの主な機能を、人の手を借りずにコントロールすることができます：

1. ボディの骨盤リフトブイを膨らませる(1)
2. 柔らかいベッドパン(4)を採取位置（肛門と肉壺の下）に移動する。
3. 移動式ソフトベッドパン(4)から尿を汲み上げ、尿バッグ(7)に排出する。
4. 移動式ソフト・ベッドパンを利用者の大腿部に向けて移動させる。
5. ボディの骨盤リフトブイを膨らませる（1）

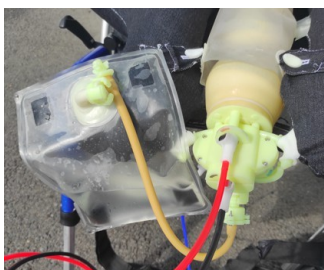
移動式ソフトベッドパン(4)が排泄物で満杯になるまで、複数回の排尿を処理することが可能である。この場合、医療機器は介助者が到着するまで機能しない。

ICK1-P1医療機器の動作（採便・採尿）をご覧ください。



10 一日の終わりに、介助者は利用者の自宅に戻る：回収した尿をトイレに捨てる

介助者は、充填された尿バッグ(7)をねじりながら流入チューブから切り離す必要があります。尿バッグをトイレに流した後、洗浄・消毒し、再び注入チューブに接続して排尿します。



11 一日の終わりに、介助者は利用者の自宅に戻る。

抽出ユニット (3+4) は、ラテックス製またはビニール製の手袋を使用してシリンダーチューブから取り外し、ステンレス製の容器を使用して抽出ユニットを使用者の浴室に運び、洗浄と消毒を行う。

これを行うには、まず空圧式尿ポンプ（黒いチューブ）と空圧式ドライブユニット（オレンジ色のチューブ）の空圧コネクターを外します。



12 ICK医療機器の次期バージョンで予定されている改善点：調達した資金による

これらの改善はすべて技術的に可能である。

1. ボディの骨盤リフトブイを1分以内に膨らませる
2. コントロールボックス側と医療機器側の接続を1つにすることで、すべてのエアフローを1つの空気圧接続で実現。
3. 空圧式尿ポンプと空圧式ドライブユニットを再利用可能なスペアパーツに統合
4. この医療機器は、音声コマンドで操作することもできるし、スマートフォンを使いたくない人のために遠隔操作することもできる。
5. 脚の間に配置される剛性パーツのサイズと体積を減らす。フレキシブルパーツに埋め込む。
6. 天候や好みの服装スタイルに応じて、装置を隠すための幅広い衣服の作成。
7. 肥満の方に、より大きな回収能力を持つ移動式ソフト・ベッドパンを提供する。

これらの改良の一部は、レンタルで提供される座位モデルと寝たきりモデル（座位モデル／寝たきりモデル）で利用できる。

